

## 参 考

# 水害時における情報収集・伝達検討会

## 報告書（項目抜粋）

平成17年10月5日

水害時における情報収集・伝達検討会

# 1 情報収集

## (1) 市災害対策本部における現地情報収集

### ■ 課題

- 視覚による水位情報の不足
- 市独自では「今後の水位上昇予測」が困難
- 職員独自による情報収集体制の未整備
- 情報発信者と受信者間における情報信頼度の低下
- 流域全体への注意不足

### ■ 既に実施済の施策

- 河川情報タッチパネルの設置（国提供）
- ライブカメラの設置
- カメラ付携帯からの映像伝送

### ■ 今後の方向

- 1 防災連絡員の確保
- 2 現地情報収集担当市職員の派遣
- 3 ライブカメラの増設、移設
- 4 上流自治体との連携
- 5 光ファイバーによる映像配信

## (2) 消防団による現地情報収集

### ■ 課題

- 携帯型消防送受令機の不足
- 消防無線の混雑

### ■ 既に実施した施策

- 豊岡消防団におけるアマチュア無線局の設置

### ■ 今後の方向

- 1 各分団における災害時情報収集専門団員の指定
- 2 携帯型消防無線送受令機の設置

## 2 情報の共有と伝達

### (1) 市職員間における共有と伝達

#### ■ 課題

- 職員への一般情報伝達が不十分。また、職員の情報取得努力の不足
- 避難所職員への情報提供不足

#### ■ 現在までの対策

- 職員へ国土交通省、兵庫県フェニックス、ウェザーニューズの関係URLの通知
- 防災行政無線操作可能職員の増員
- 各課又はフロアーへの戸別受信機設置数の充実

#### ■ 今後の方向

- 1 国土交通省、兵庫県情報等の放送等による周知
- 2 本部等連絡員による周知
- 3 情報共有システムの導入検討

### (2) 市と国土交通省及び兵庫県但馬県民局間における共有と伝達

#### ■ 課題

- 国土交通省、兵庫県但馬県民局間の情報共有が不十分
- 市民の問合せ等に忙殺され、災害対策に関する電話連絡に支障

#### ■ 現在までの対策

- 国土交通省及び但馬県民局に防災行政無線戸別受信機の増設

#### ■ 今後の方向

- 1 共有すべき情報の検討
- 2 道路情報の定型化の推進

### (3) 市から市民への伝達

#### ■ 課題

- 防災行政無線・有線設備、FMジャングル（一時途絶あり）による伝達以外の有効手段の未整備
- 旧竹野町及び旧但東町の有線設備が断線、停電により使用不可能

- 防災行政無線戸別受信機の水没により伝達に支障
- 旧豊岡市では、防災行政無線室と本庁間の道路浸水のためロスタイムの発生
- 避難所建物内戸別受信機設置場所と避難場所との乖離
- 市民から、よりきめ細かな情報及び今後の見通し情報の提供要望

#### ■ 現在までの対策

- 「ひょうご防災ネット」への参加決定
- 国土交通省の携帯サイト等の広報による周知
- 本庁における周辺の浸水状況に応じた宿直室設置の遠隔制御機の利用
- 現在有線設備である竹野、但東地域に防災行政無線の導入について検討開始
- 水没した戸別受信機の再設置
- 災害時における避難所派遣職員の受信機持参

#### ■ 今後の方向

- 1 有線設備の防災行政無線への切替え
- 2 FMジャンглの防災協力機関としての位置づけ
- 3 「ひょうご防災ネット」への登録の推進
- 4 放送による詳細かつ経過が理解できる情報の提供
- 5 区長等へのFAX送信
- 6 電光掲示板の利用

### 3 防災行政無線・有線設備による放送方法

#### ■ 課題

- 効果的な言葉の選択及び配列の未検討
- 放送の際の緊迫感の欠如
- 市民への言葉の意味の周知不足

#### ■ 現在までの対策

- 避難勧告等災害用語の意味の広報

#### ■ 今後の方向

- 1 災害対策本部としての放送
- 2 緊急放送であることの予告
- 3 冒頭に結論又は要点の予告
- 4 重要事項における選択余地の減少と理由の添付
- 5 専門用語の排除
- 6 抑揚のある発声と冷静な発声の併用
- 7 防災行政無線「緊急一括」機能の積極利用

## 4 本部等の体制

### ■ 課題

- 災害拡大に伴う情報収集、整理・分析、伝達能力の低下
- 災害拡大による特殊情報の重要性の未理解
- 決定を具体的に指示として出すべき職員等の定例業務従事
- 合併による情報の一体的把握の必要性和適切な指示・判断

### ■ 現在までの対策

- 担当職務をより具体化し、職員に用語解説集を配布
- 総合支所長に避難勧告等の重要判断委任

### ■ 今後の方向

- 1 事務局体制の強化
- 2 専用電話回線の確保
- 3 災害用携帯電話等の増設

## 附記事項（今回、具体的に検討しないが、今後検討を要すると指摘があったもの）

- 1 区への高齢者等災害時要援護者の情報提供
- 2 安心できる避難所の確保

## 資料（概要）

#### ◆検討会委員

委員 11名（神戸大学教授(専門委員) 1名、市民代表 2名、放送事業者 1名、国職員 1名、県職員 1名、市職員 5名）

#### ◆放送例文（内容等について特に考慮した事項）

- ◎ 全体を通じて、分かり易さを意識し、自主避難及び持参品通知を強化
  - ◎ 避難、決壊に関する情報の再放送
  - ◎ 避難、決壊に関する英文準備
- 1 台風接近  
FMジャングル紹介、雨量情報取得先
  - 2 気象・水位  
市内各地の雨量、危険な行為の禁止
  - 3 情報取得先・用語解説  
使用用語の事前広報
  - 4 災害警戒本部設置  
水防指令の発令状況等と市の体制、市業務の縮小
  - 5 災害対策本部設置  
水防指令の発令状況等と市の体制強化、市業務の停止状態
  - 6 水防指令 3号発令  
水防指令の発令状況等と市の体制強化、市業務の停止
  - 7 河川の水位  
前回放送時と比較した水位、堤防高等までの水位（適宜）
  - 8 公共機関等の運行中止  
特記事項なし
  - 9 道路情報(通行止め)  
迂回路
  - 10 ライフラインの状況  
特記事項なし
  - 11 避難準備情報  
要援護者の避難開始、判断理由の添付、要援護者に幼児等を付加
  - 12 避難勧告  
判断理由の添付
  - 13 避難指示  
避難に当たっての最低限の留意事項及び周辺危険度判定の基準添付
  - 14 決壊  
外出禁止